



No.30 2011.2

news

BIZ 島田節子

400-0032 甲府市中央2-9-12

TEL/FAX 055-227-5927

biz@setuko.jp <http://www.setuko.jp>

～ 国際宝飾展・2011 ～

今年も東京国際宝飾展の時期がきた。いつも感じるのは出展するのとビジターとして観察するのでは不思議なことに見えるものが全くちがう。そのビジターの方々もいつまでも景気のせいにするのにも飽きて真剣に次の商材を探し展開を構想

しているので会期中は連日賑わっていた。これは消費者が儉約、買い控えにもう飽きてしまい何か買いたい、と思い始めたらしいの一致する。

今、何が良いかは考え方により違う。共通しているのは全て時代と共に変わらないといけないと感じていること。



BIZのカラー グリーンの
いがいがドットで明るいブースに

～ 聖護院大根 ～

見事な聖護院大根を頂いた。まずは大根や蕪と同様に葉を胡麻油で炒め煮する。さて、後はどうする？とインターネットに頼る。まず厚く剥いて千切り、オリーブオイルできんぴらを作る。次に下茹でした揚げと椎茸で薄味の煮物。とろけるように柔らかく優しくホッとする味。最後に蓮と共に薄切り、さっと湯通し、ソテーした魚をのせて頂く。すべてとてもシンプルで軽やか。柚子が良く合う。でも意外なヒットはきんぴらかも。これで長芋と蓮根のスープなどあれば最高。

友人との会話。“欧米人は80歳、90歳になってもお肉もりもり。だから枯れるということがない”。という説。でも我ら日本人には先人が残した色々が血のように宿っている。障子を通した光の柔らかさ、極力無駄を省き心と技を込めるモノづくりは全てに及ぶ。＜痒いところに手が届く＞という表現がある。かつて日系の航空会社の機内サービスは hot (又は wet) service と言われ客の求めに敏感に反応し、外国人にも人気だった時代がある。

日本人はもっと自信と誇りを持って良いと思う。



～ 1日の最後の楽しみ ～

朝起きた時からその時が楽しみ。夜寝る前のひととき。もう寝るだけという時何冊か積んである本の一冊を選んで読む。歴史物が多い。勿論塩野七生は大好き。アフリカ北部から地中海イタリア、16世紀位まで。文化もそのあたりが好き。宗教に特に関心があるわけでもないのにキリスト関連も。それに戦国時代の日本。これはイタリアの時期と重なる。



楽しくてワクワクしながら、それでも時計の針を気にしつつ読み続けることも多い。

そんな時間の前にぼんやり何を考えるでもない時もまた良い。気になることをメモしたり（我が家にはあちこちにメモ帳がある）派生して

文章を書いたりスケッチしたり。一見無駄に見えるこの時間が持てると充足した眠りに入ることが出来る。元来夜の読書は私にとっては睡眠導入剤だったのだ。深夜零時を過ぎてからの睡眠は健康的ではないと分かりつつそれでもこの楽しみは棄てられない。

～ ハーキマ ～

ニューヨークのハーキマ鉱山産出の水晶。通称<ハーキマダイヤモンド>と呼ばれる。尖端は両端にあり(普通の水晶は片方)その名の通り少々大きなダイア原石の様に美しく輝く。NY 鉱山は小さくすぐ枯れてしまい、今はパキスタンハーキマというのがある。が、その美しさはNYに劣る。

島田はNY ハーキマを幾つか所持している。その色、形は見ているだけで楽しい。しかも今では稀少石。価格は水晶。良いことづくめではないか。



<ペンダント>
ハーキマ
レッドスピネル
PT100
K18YG

ハーキマ

<BIZ 島田節子 作品展>

高島屋玉川店 6階宝飾品売場

5/20(金)～5/23(月)